令和６年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●令和6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
田野町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	ボランティアの高齢化などから、学校や子どもたちに関わる人が減少傾向にあり、依頼を断られる事例も出てき始めている。また、特定の方だけの活動になることも多いため、新たな人材の確保（世代交代）が課題となっている。	小学校や認定子ども園から依頼を受け、地域コーディネーターが地域から適任者を探し、日程調整や依頼等を行っている。地域の文化や産業の継承、地域に根差した教材を利用した体験学習を通して、地域の方と交流を深める活動を行っており、今年度は小学校23件、中学校10件の地域活動を実施することができた。	継続的な実施のために、多くの方々に活動を知ってもらい、新たなボランティアの確保に努める。学校からのニーズに合った活動、人材を確保できるように努める。	学校や子どもたちに関わる地域の方が増加し、地域とのつながりが強化される。地域全体で子どもたちを育てるという意識が高まる。	学校支援ボランティアが実施する活動件数	33	件	40	40	3	学校支援ボランティアについて、高齢化を理由にボランティアの依頼を断られるケースも増えてきていた。そのため、新たに若い世代の方に声をかけて学校支援ボランティアとして協力いただいたケースがあったため目標値を達成することができた。